

授業科目名： 獣医衛生科学特別演習 A (東京農工大学)		単位数 8 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 1～4 年次通年	授業形態： 演習科目		開講形態： 主指導教員による研究指導
授業のテーマ及び到達目標： 主指導教員が履修者の研究内容について指導を行い、期間内に博士論文が完成出来るように研究指導を行う。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶ。			
授業の概要： 動物衛生及び公衆衛生に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように、研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。			
授業計画： 獣医衛生科学講座に所属する履修者の研究内容について指導を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに直結する研究分野の研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法を指導する。このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに直接的に関与する技術、技能を養う。 <u>①研究テーマを協議し、それに応じた研究計画の立案を指導する。</u> ②研究の実際の実施方法を指導する。 ③博士論文作成に必要なデータの管理法、解析法を指導する。 ④先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 ⑤学会などでの成果発表法を指導する。 ⑥学術論文の作成を指導する。 ⑦博士論文発表会での発表に対する準備を指導する。 ⑧博士論文の作成を指導する。  (白井 淳資) 家畜伝染病、伝染病制御と消毒、病原体検出 (竹原 一明) バイオセキュリティ、飼養衛生管理基準、病原体、畜産農場 (永田典代) 人獣共通感染症、ウイルス、病原性因子、動物感染モデル、新興・再興感染症 (藤川 浩)			

食中毒、腐敗、予測モデル、リスク評価、食品安全 (水谷 哲也) 家畜感染症、伴侶動物感染症、エキゾチックアニマル感染症、人獣共通感染症 (李 天成) 人獣共通感染症、バキュロウイルス発現系、疫学 (谷口 隆秀) 発生工学、疾患モデル動物、感染病態形成、病原体分子生物学、感染症診断 (林谷 秀樹) 集団、人獣共通感染症、食中毒、分子疫学、微生物生態 (古谷 哲也) 動物感染症、ウイルス、原虫寄生虫、病原性、感染防御 (石原 加奈子) 食中毒、薬剤耐性菌、疫学解析、分子疫学解析 (大松 勉) 感染症、家畜、エキゾチックアニマル、防疫
テキスト：特になし
参考書・参考資料等：特になし
学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。